

ロシア（極東）

2006年第1四半期のロシア極東の経済

極東連邦管区の鉱工業生産は、前年同期比で約10%の成長（以下、増減は全て前年同期比であり、インフレ率のみは対前年12月比）を見せ、ロシア平均成長（3%）を大幅に上回った。しかし、連邦構成主体別の格差が広がっている。サハリン州及び沿海地方は各々65.2%、43%と大幅な鉱工業生産高成長率を記録した。サハリン州では、加工業の成長率が僅か3.2%でしかなかったが、鉱業の成長率が2.1倍増となった。つまり、サハリン大陸棚の石油天然ガス開発プロジェクトによる経済への影響が明らかである。逆に沿海地方では、鉱業の成長率が6.8%に止まり、加工業の成長率が75.7%成長し、極東で最も高い鉱工業成長を見せた地方の一つとなった。アムール州、ユダヤ自治州及びカムチャッカ州の鉱工業生産高は僅か1～3%増でしかなく、チュコト自治管区、サハ共和国（ヤクート）及びハバロフスク地方ではマイナス成長となった。マガダン州は、鉱業と加工業の双方が20%以上のマイナス成長となり、極東で最も低い鉱工業生産高を記録した。

固定資本投資については、ロシア全体平均の成長が6.1%増となったにもかかわらず、極東連邦管区では1%に過ぎず、7つの連邦管区の中で一番低い成長率であった。カムチャッカ州の成長率（39.9%増）が高く、マガダン州、サハリン州及びハバロフスク地方でもプラス成長を記録した。他方、最も成長率が低かったのはユダヤ自治州（66%）であった。

投資額で見ると、依然としてサハリン州が第1位であり、極東連邦管区に対する総投資額の50%を超えている。サハリン州の企業、特にサハリンプロジェクトの参加企業

は、主に自己資金及びクレジット（総投資額におけるシェアはそれぞれ17.5%と82.1%）を利用して投資を行っており、連邦予算への依存度は極めて低い。その結果、極東連邦管区全体として連邦予算への依存度は7.9%であり、ロシア平均レベル（12.3%）を下回っている。しかしながら、未だに幾つかの連邦構成主体では、連邦予算に依存する経済運営となっている。例えば、マガダン州では依存度が40%以上であり、サハ共和国及びカムチャッカ州では30%前後である。

消費者物価指数については、サハ共和国及びマガダン州等、連邦平均レベル（5%増）を上回るところもあったが、極東連邦管区平均では4%増に止まり、ロシア全体で最も低いインフレ率を記録した。特にユダヤ自治州では、同指数が2.9%増に抑えられた。

小売売上高は768億ルーブルとなり、ロシア全体で最も売上高の高い中央連邦管区（6,944億ルーブル）の僅か11%でしかないが、これは極東の人口がロシアの人口において約5%しか占めていないからである。他方、小売売上高の成長率は11.8%増となり、ロシア平均の10.2%を若干上回った。特に、沿海地方（17.8%増）及びサハリン州（15.1%増）の成長率が高かった。マガダン州及びサハ共和国（それぞれ1.8%増と2%増）では低水準の伸びに止まった。生活水準の面では、極東連邦管区全体の平均名目賃金が11,941.2ルーブル（2006年8月末現在の為替レートで約450ドル）となり、ロシア連邦の中ではウラル連邦管区（12,755.2ルーブル、約480ドル）に次いで第2位に入った。しかし、実質平均賃金の成長率は僅か4.9%であり、ロシア全体平均（10.3%）及び他の連邦管区（7%～12.5%）に比べ低かった。

（ERINA調査研究部研究員 ドミトリー・セルガチョフ）

	鉱工業生産 (%)					固定資本投資 (%)					小売売上高 (%)					消費者物価 (%)					実質平均賃金 (%)				
	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年1Q	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年1Q	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年1Q	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年1Q	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年1Q
ロシア連邦	3.7	7.0	6.1	4.0	3.0	2.6	12.5	10.9	10.7	6.1	9.1	8.0	12.1	8.2	10.2	15.1	12.0	11.7	10.9	5.0	16.0	10.3	10.9	10.0	10.3
極東連邦管区	0.9	4.7	7.3	2.2	9.9	8.4	37.3	13.5	5.5	0.8	13.4	10.6	9.8	10.0	11.8	15.2	12.8	11.3	13.3	4.0	20.0	12.1	9.4	8.0	4.9
サハ共和国	1.7	1.6	12.8	6.0	3.2	5.0	2.4	8.1	25.8	7.5	22.8	25.1	0.4	10.6	2.0	12.1	11.8	10.8	12.1	5.2	19.0	5.6	5.4	6.8	1.3
沿海地方	1.2	6.1	9.5	22.3	43.0	9.5	2.9	2.4	0.0	8.9	14.3	9.7	15.6	9.4	17.8	13.6	12.8	10.8	12.4	3.3	19.0	16.5	11.4	13.0	5.8
ハバロフスク地方	6.0	7.2	0.3	0.1	2.4	19.0	6.0	1.9	1.0	4.3	11.5	5.1	8.5	10.0	11.9	17.6	15.3	13.8	13.6	4.4	17.0	12.6	5.4	3.4	1.9
アムール州	0.2	6.8	2.2	5.4	3.2	23.8	11.9	10.4	2.4	24.8	3.8	4.7	16.9	9.5	12.0	12.4	15.5	12.6	13.2	4.9	27.0	11.9	10.2	5.8	4.9
カムチャッカ州	16.0	3.4	5.1	4.2	1.9	14.8	66.0	48.8	21.4	39.9	2.0	3.8	2.6	10.2	11.8	14.1	10.2	11.3	21.5	3.5	21.0	13.1	13.4	4.1	3.4
マガダン州	6.9	10.1	3.2	2.8	25.7	1.6	22.9	7.9	14.6	15.5	7.2	11.2	2.3	11.0	1.8	12.3	11.9	9.4	12.4	5.2	16.0	11.6	15.8	0.7	4.3
サハリン州	12.5	3.4	4.8	9.4	65.2	31.8	2.2倍	89.4	1.1	14.0	18.3	10.7	16.1	12.6	15.1	17.6	11.8	11.5	14.1	4.4	20.0	15.0	16.2	11.1	9.8
ユダヤ自治州	11.0	7.0	2.0	0.5	2.4	54.2	52.5	2.1倍	56.1	66.0	18.0	3.9	15.2	11.4	6.0	19.9	14.5	12.1	14.5	2.9	27.0	10.0	6.9	8.3	8.7
チュコト自治管区	20.5	17.7	9.8	16.8	6.9	2.8倍	76.0	2.0	10.0	6.3	19.3	3.3	6.3	14.1	7.9	32.7	17.0	11.1	15.3	4.8	28.0	11.2	0.9	7.0	3.4

（出所）『極東連邦管区地域の社会経済状況』（ロシア連邦国家統計庁）、2002年～2005年・2006年第1四半期。

（注）2006年1Qは前年同期比、他は前年比、消費者物価は前年12月比、カムチャッカ州はコリヤク自治管区を含む。